事業番号   00351
--------------

事務事業名	総合福祉会館施設管理事業								
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守				

	3 353 3 514 4 10																
(1)	事業開始年度	昭和62年度			改正	障害	<b>『者自立支援法</b>	に基づ	づく生	上活介	護事業か	ら障害者の	日常生活	及び社会	生活を総合	ら的に支援	するため
(2)	直近の改正	平成24年度					は律に基づく生活										
(3)	根拠法令等	吹田市立総一	合福祉会	€館条例	ā]												
		☑ 全部		一部	(上乗せ	·、横	出し等あり)			なし	(国•府制	度もしくは	法令等でで	市が実施す	<sup>-</sup> る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ニックした	場合は	その説	説明											
(5)	総合計画の体系	章(	03 健児	康で安	心して暮	て暮らせるまちづくり 節							04		細節	12	2
		:	I		区	分	☑ 内部管理	l		建設	事業	□ そのイ	也	 			
( - )	<b>.</b>	対象 (誰を、何を) 範															
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいの	)か)	適切	 適切な維持・管理をします。											
		結果 (どのような効:	果が得られ	れるのか	長期	期間にわたる施設の安全保持。											
(7)	事業概要						子福祉センタ <del>-</del> 所も開設された								建会館も言	设置され、さ	らに平
(8)	H28事業別 予算コード	 会計	01	款	0	3	項 C	)1		目	10	大事業	03	中事業	01	小事業	01
	<u> </u>	項目					平成27年度 (2015年度)						平成2 (2016	—————————————————————————————————————		平成29 (2017 <i>:</i>	
					予算(千円)			決算(千円)			予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)		
		事業費(		麦(A)			75,874		67,667		67,667		75,527		70,912		
		人件費	職	員数		ζ	1.4		40		1.40		1.40				1.60
		総		類(B) ·				1,693			11,255	11,43		·			12,884
	<del></del>	松	)			7,567	<u> </u>		86,965		· ·			95,686			
(9)	事業費と 財源の内訳	特定財源(C)							938 998		·		· ·			919	
		内		国					0		0				0		0
		訳		府 の他				938			998	0			1,300		
			 市負担				86	6,629			77,924		1,004		80,672		919 94,767
				· 方債				0,020			0				00,072		
		内		<del>の</del> 他				0			0		0		0		0
		訳 <u></u>		<b>设財源</b>			86	6,629			77,924				80,672		94,767
		j	財源計(	C+D)			8	7,567			78,922		86,965		81,972		95,686
		□直持	妾実施														
									日東	カスト	ディアル・	サービス(	朱)				
		☑ 委請	モ又は一	·部委託			委託先	2				い者の働く					
	実施方法						,, -					株)大阪営	業所 ————				
(10)						主	をな委託内容		管理	፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟	₿∙警備業₹	<b>努他</b>					
	は全部チェック)	<u> </u>	ሐራ ድዛ				六八十	1									
		□ 開月 ■	助金・負担	브쇼			交付先	2									
								3									
		□ その	つ他				内容										

			指標項	∄		項目	平成2 (2015		平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
$\overline{}$		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
1 ~		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成 果 指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
( の 3 が 困指	1	活動 内容	清掃、警備、設備	<b>請管理等を適切に実施し</b>	<b>)ます</b> 。		目標	会館利用(	の安全を確保します	<b>;</b> .
困難な場合	2	成果 内容	会館の維持管理	を適切に行っています。			達成 状況	事故もなく	市民が会館を利用	]できています。
		4	 	□ 拡充	☑ 継続	□縮小	`		<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総	合評	-	評価の説明	会館も設置され、さす。本会館では、あ者教室、地域包括する館の安心・快適な	らに平成27年 らゆる事業(で 支援センター等 は使用を提供し 要箇所が増え	母子福祉センターの根 F2月より暫定的に休日 市民、乳幼児健診、バ 等)を実施しており、市 しなければならないとま ていくので館内の室割	日急病診療 ンビ親子 民等への きえていま	療所も開言 数室いきが 還元も大きす。	设された福祉と係がい教室、生活が きく、施設の維持	保健の複合施設で 入護事業、障がい なび安全を保ち、

所属名	総合福祉会館				
事務事業番号	00351	事業名	総合福祉会館施設管理事業	事業区分	内部管理

	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	ii	
(4)	妥当性		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
(1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	ii	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	ii	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
				i	
	有効性		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
(2)	(20点)	18		i	
				5	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	••••
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	 点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
	ᄎᆈ <i>ᅑ</i> ᄼᆘᄼ		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	 点
(3)	効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		****
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	 点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		****
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	  
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	į	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		 点
			②サービスの水準は適正ですか。		
	公亚州		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		 点
(4)	公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		 点
			4公平性を確保するための取組みをしていますか。	······································	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		 点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		711
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		7118
	持続可		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	
(5)	能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	<u></u>	
	(20杰/		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	 点
					~15 <b>&gt;</b>
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	 点
==: /=:	г <b>-</b> А = !				\(\text{\tint{\text{\tint{\tint{\text{\tint{\text{\text{\text{\tint{\tint{\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tint{\text{\tint{\tint{\tint{\text{\tint{\tint{\text{\tint{\tint{\text{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\text{\tint{\text{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tin}\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\tint{\text{\tin{\tin
	5点合計 点満点)	87	<ul><li>→ ※自動計算します。</li><li>(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))</li></ul>		
					•

2 各視点からの評価の点数	では表れない事項(必要に応じて詞	記載)	
30年目を迎え、築浅の時期と比べ	ると、施設維持補修経費がかかること	は止むを得ないと思われます。	
3 事務事業の現状分析			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 10 5 0 公平性 对率性	
(3)現状分析	耐用年数を大幅に過ぎている物も多設の維持及び安全を保ち、安心、快速更新及び整備は必要不可欠です。 平成28年度には施設改修事業で行設備のオーバーホール等不具合の修館運営に努めました。平成29年度は	築された建物で、耐用年数は50年とされく、設備管理担当者や各メンテナンス業ででは使用を提供するため日々の保守点をできまるが、大規模な工事の他に、施設管理事業を経済を26件行う等、老朽化した設備を補係自動火災報知設備や減圧水槽の取替修実施計画及び予算要求を進め、施設の組	当から指摘を受けています。施 強はもとより、計画的な機器の 業においても非常用自家発電 多することによって安定した会 ・繕を予定しており、館の安全を
4 その他(国・府の動向など、	、当該事業に関係する特記事項)		

事務事業番号

00351

所属名 総合福祉会館

事務事業名	総合福祉会館施設改修事業								
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守				

(1)	事業開始年度	以止			な正 [	障害者自立:											
(2)	直近の改正	平成24年度	:		]容(	の法律に基づ	づく生活介詞	護事第	<b>美へ変更</b> 。	o ·							
(3)	根拠法令等	吹田市立総	合福祉会館	館条例													
		☑ 全部		一部(上	:乗せ、	、横出し等あ	<b>り</b> )		なし(国	国•府制	度もしくは	去令等でī	市が実施す	る義務あ	り)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ニックした場	易合はそ	の説り	説明											
(5)	総合計画の体系	章(	03 健康	- で安心し	して暮	らせるまちつ	<b>ぶくり</b>		質	ົ້າ		04	i	細節	12	2	
		<u> </u>			区分	分 ② 内部	部管理		建設事	業	□ そのイ	也					
(G)	目的	対象 (誰を、何を) (				範囲等 総合福祉会館の施設・設備。											
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいのた	か)	適切	に維持・管理	型します。										
		結果 (どのような効	果が得られ <sup>,</sup>	るのか)	長期	間にわたるカ	施設の安全	:保持	0								
(7)	事業概要	総合福祉会 成27年2月。	≩館は、高 より暫定的	i齢者、障 かに休日	章がい: 急病i	者、母子福祉 診療所も開設	止センター <i>0</i> とされた福祉	の機能 止と保	をあわせ 健の複合	±もつ施 ↑施設と	i設であり、 :しての維持	また保健 <sup>-</sup> ・管理を行	センター、係 います。	保健会館も	設置され、	さらに平	
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	3 項	01		目	10	大事業	03	中事業	02	小事業	01	
							<u>ਹ</u>	27年原	<del></del>		-	ᅲ	0 左 由		<del>π (†</del> 00		
			項目	3				5年度				平成2 (2016			平成29 (2017年	9年度 年度)	
			項 E 	<b>∄</b> 		予算		5年度		円)	予算(-	(2016		(千円)		年度) ————	
			事業費(	(A)			(201 <u>)</u> 〔千円) 14,026	5年度	:) 決算(千I	63,720		(2016 千円) 176,998	年度)	164,830	(2017 <del>年</del> 予算(=	年度) 千円) 0	
		人件費	事業費(	(A) 員数		,	(201 〔千円) 14,026 0.20	5年度 6 0	:) 決算(千I	63,720 0.20		(2016 千円) 176,998 0.20	年度)	164,830	(2017 <del>年</del> 予算( <del>-</del>	年度) 千円) 0.00	
			事業費(職員総額	(A) 員数 [(B)	人 FF	,	(2015 (千円) 14,026 0.20 1,671	5年度 6 0	<del>決</del> 算(千 <b>l</b>	63,720 0.20 1,608		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634	年度)	164,830 0.20 1,580	(2017 <del>年</del> 予算(=	年度) 千円) 0.00 0.00	
	事業費と	統	事業費( 職員 総額 総事業費(A	(A) 員数 [(B) A+B)		,	(2015 (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697	5年度 6 0 1	<b>決</b> 算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328		(2016 千円) 176,998 0.20	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410	(2017 <del>年</del> 予算(=	年度) 千円) 0.00 0.00	
(9)	事業費と 財源の内訳	統	事業費( 職員 総額 総事業費(A 特定財源	(A) 員数 [(B) A+B)		,	(2015 (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697	5年度 6 0	<b>決</b> 算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0	(2017 <del>年</del> 予算(=	年度) 千円) 0.00 0 0	
(9)		(内	事業費( 職員 総額 総事業費(A	(A) 員数 [(B) A+B) [(C)		,	(201 (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697	5年度 6 0 1 7	<b>決</b> 算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410	(2017 <del>年</del>	年度) 千円) 0.00 0 0 0	
(9)		<b>総</b>	事業費( 職員 総額 総事業費( <i>F</i> 特定財源	(A) 動数 (B) A+B) (C) 国		,	(201) (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697	5年度 6 0 1 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0	(2017年 予算(=	年度) 千円) 0.00 0 0 0	
(9)		(内	事業費( 職員 総額 総事業費(A 特定財源 国	(A) 員数 [(B) A+B) [(C) 国 方		,	(201) (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697	5年度 6 7 7 0	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0	
(9)		(内訳)	事業費( 職額 総事業財源 特定財源 市負担( 市負担(	(A) 員数 [(B) A+B) [(C) 国 时 D他 (D)		,	(201 <del>.</del> (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697 (0 (15,697	5年度 6 7 7 0	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0	(2017年 予算(=	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0	
(9)		(内訳)	事業費(	(A) 員数 I(B) A+B) I(C) 国 D他 (D) 与債 D他		,	(201 <del>.</del> (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	5年度 6 7 7 0 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(=	年度) 千円) 0.00 0 0 0 0 0 0 0	
(9)		(内訳) (内訳)	事業 職 総 費 財	(A) (A) (B) (A + B) (D) (D) (D) (D) (D)		,	(201) (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697 (0 (15,697)	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0	
(9)		(内訳) (内訳) (内訳)	事業 職 総 費 ( ) 事業 職 総 費 財 産 府 の 市 も 日 い そ 般 ( ) 財源 国 府 の ( ) 方 の ( ) か の (	(A) (A) (B) (A + B) (D) (D) (D) (D) (D)		,	(201 <del>.</del> (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0	
(9)		(内訳) (内訳) (内訳)	事業 職 総 費 財	(A) (A) (B) (A + B) (D) (D) (D) (D) (D)	1	,	(2015年) 14,026 0.20 1,671 15,697 (0 15,697 15,697	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0	
(9)		(内訳) (内訳) (内訳) 直	事業 職 総 費 特	(A) (A) (A) (B) (A) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	1	,	(201) (千円) 14,026 0.20 1,671 15,697 (0 (15,697 15,697 15,697	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0	
(9)	財源の内訳	(内訳) (内訳) (内訳) 直	事業 職 総 費 ( ) 事業 職 総 費 財 産 府 の 市 も 日 い そ 般 ( ) 財源 国 府 の ( ) 方 の ( ) か の (	(A) (A) (A) (B) (A) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	1	· 	(201) (4,026) 0,20 1,671 15,697 (0 (15,697) 15,697 (15,697)	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0	
	財源の内訳 実施方法	(内訳) (内訳) (内訳) 直	事業 職 総 費 特	(A) (A) (A) (B) (A) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	1	· 	(201) 14,026 0.20 1,671 15,697 (0 (15,697 15,697 (15,697 (10)	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) ————	
(10)	財源の内訳 実施方法 (該当するもの	(内訳) (内訳) (内訳) 直	事業 職 総 費 特	(A) (A) (A) (B) (A) (C) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D) (D	1	委託先	(201) (14,026) (1,671) (15,697) (15,697) (15,697) (15,697) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (1	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0	
	財源の内訳 実施方法	(内訳)     (内訳)       重     重	事業 職 総 費 特	(A)	1	委託先	(201) (14,026) (14,026) (15,697) (15,697) (15,697) (15,697) (17,6	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0	
	財源の内訳 実施方法 (該当するもの	(内訳)     (内訳)       重     重	事業 職 総 費 財 妻 ま ま 報 総 費 財 を も も	(A)	1	を託先生な委託に	(201) (14,026) (1,671) (15,697) (15,697) (15,697) (15,697) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (1	5年度 6 7 7 0 7 0 7	決算(千I	63,720 0.20 1,608 65,328 50,904 0 50,904 14,424 0 0		(2016 千円) 176,998 0.20 1,634 178,632 0 0 178,632 0	年度)	164,830 0.20 1,580 166,410 0 0 166,410 0	(2017年 予算(-	年度) 千円) 0 0.00 0 0 0 0 0 0 0	

			指標項目	<b>∃</b>		項目			27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)												
			改修工事の実施	件数	目標値	(単位:件)			1.00	1.00	0.00												
		指標 内容			実績値	(単位:件)			1.00	1.00													
	1					達成度(%)			100.0	100.0													
		目標値	予算措置された。	改修工事の件数	単位当た	総事業費(単位:千	-円)		65,328.00	166,464.00													
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千	-円)		14,424.00	166,464.00													
活動指標					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00												
標		指標 内容			実績値	(単位:)			0.00	0.00													
	2					達成度(%)			0.0	0.0													
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千	-円)		0.00	0.00													
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千	-円)		0.00	0.00													
					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00												
		指標 内容			実績値	(単位:)			0.00	0.00													
	1					達成度(%)			0.0	0.0													
		目標値 の積算	算します。														単位当た	総事業費(単位:千	-円)		0.00	0.00	
2 - 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千	-円)		0.00	0.00													
成果指標					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00												
標		指標 内容			実績値	(単位:)			0.00	0.00													
	2					達成度(%)			0.0	0.0													
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円) 単位当た りコスト			0.00	0.00													
		方法			りコスト	一般財源(単位:千	-円)		0.00	0.00													
の の が 困指	1	活動 内容						目標															
開業な場合	2	成果 内容	長期間にわたって	て施設の安全を保ち、多	安心・快適な場を	提供します。		達成 状況		化の対応ができ、事 ごきています。													
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		縮小		·		終期の設定												
(4)総	4)総合評価 評価の説明			この施設は、高齢健会館も設置され、です。本会館では、い者教室、地域包持ち、会館の安心・快ました。今後はより整備を進めて行く必	さらに平成2 あらゆる事業 舌支援センター 適な使用を提 一層関係部署	7年2月より暫定的 (市民、乳幼児健 -等)を実施してお 提供しなければなら との連携を深め、	りに休 診、ハ らり、市 らない。	日急病 「ンビ親・ 「民等へ と考えま	診療所も 子教室、し の還元も す。平成	開設された福祉と ^きがい教室、生活 大きく、施設の維 28年度は空調設	保健の複合施設 活介護事業、障が 持及び安全を保 備の更新を行い												

所属名	総合福祉会館				
事務事業番号	00352	事業名	総合福祉会館施設改修事業	事業区分	内部管理

評価	の視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
	妥当性		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	····i······	
(4)		20	※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
(1)	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<del>i</del>	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	i	
( - )	有効性 (20点)		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
(2)		18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	<u> </u>	
	効率性 (20点)		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
(3)		20			
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	5	点
				<u> </u>	
			************************************		点
	公平性		************************************		点
(4)	(20点)	0			
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
			<ul><li>④公平性を確保するための取組みをしていますか。</li></ul>		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。		·····································
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>	
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	i	
	持続可		※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
(5)	能性 (20点)	10	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			※答えをプルダウンメニューで選択してください。	3	点
量亚和	┗━━━━ Б点合計			<u> </u>	
	点満点)	85	(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		<u> </u>			I

2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	記載)										
O年目を迎え、築浅の時期と比べると、施設維持補修経費がかかることは止むを得ないと思われます。												
3 事務事業の現状分析												
(4) 大東米の仕塁はは	主要な政策課題		_ Z Ø //h									

00352

事務事業番号

所属名

総合福祉会館

## その他 |(1)本事業の位直付け 部として里点的な取組 としての取組 妥当性 10 有効性 持続可能性 5 (2)各視点からの評価結果 公平性 効率性 本会館は、昭和62年(1987年)に建築された建物で、耐用年数は50年とされています。各機器に関しては耐 用年数を大幅に過ぎている物も多く、設備管理担当者や各メンテナンス業者から指摘を受けています。施設 の維持及び安全を保ち、安心、快適な使用を提供するため日々の保守点検はもとより、計画的な機器の更 新及び整備は必要不可欠です。経年劣化による不具合として、各室の空調設備の動作不良や機械室の空 調機の内部の劣化の進行、非常用自家発電設備の減圧水槽の劣化等が起こっています。また機器の長期 (3)現状分析 間にわたる使用により修理が不可能なものも増えており、自動火災報知機の部品全てが製造中止で故障し ても部品交換が不可能である等、会館の安定的な運営に課題がある状況です。平成28年度は大規模な工 事として、空調設備改修工事を行い今後も館の安全を維持するために関係部局と調整し、実施計画及び予

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

算要求を進め、施設の維持管理に努めます。

事業番号   00353
--------------

事務事業名			福祉活動の場提供事業	福祉活動の場提供事業							
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守						

	事務事業の概	<b>双安</b>																
(1)	事業開始年度	昭和62年度			改正	障害		援法	に基・	づく生	活介	・護事業か	ら障害者の	日常生活	及び社会生	活を総合	う的に支援す	ナるため
(2)	直近の改正	平成24年度			内容		法律に基づ <sup>。</sup>											
(3)	根拠法令等	吹田市立総合	<b>合福祉</b>	会館条	列	•												
		☑ 全部		□一部	(上乗せ	大横	出し等あり	)		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし	た場合に	よその説	.明												
(5)	総合計画の体系	章 0	3 修	 建康で安	心して暮	事らせ	L tるまちづく	[IJ				 節		04	糸	 田節	12	
		<u> </u>	<u> </u>		X	分	□内部	管理			建設	事業	☑ そのイ	也			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)			範	囲等	高齢者、随	章がし		母子。	及び	関連福祉	団体。					
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたい	いのか)	地均	地域福祉などの活動の拠点として、よりよい福祉の充実を図ります。												
		結果 (どのような効!	果が得ら	られるのか	、) 社会	会活動への参加の促進。												
(7)	H28事業別	高齢者、障がい者、母子及び関連福祉団体等に対し、活動の場を提供します。																
(8)	予算コード	会計	01	款		)3	項	0				10	大事業	04	中事業	01	小事業	01
						平成2 (2015					平成2 (2016			平成29 <sup>5</sup> (2017年				
						予算(	千円)	)	ž	夬算(	(千円)	予算(-	千円)	決算見込	(千円)	予算(千円)		
			事業	·業費(A)			59							591	584			
		人件費	職員数			人	+		0.50			0.50		0.50				
				総額(B) 千円		円	4,176								·		<u> </u>	
	古光串に			費(A+E	3)	4,767							+					
(9)	事業費と 財源の内訳		特正則	<b>け源(C)</b> ■ 国			0					0		0	0			
		<u> </u>		<del></del> 府			0							0		0		
		訳 <u></u>		 その他					0					0		0		0
			市負	担(D)				4	1,767			4,567			4,534			4,647
		$\hat{\mathcal{L}}$	;	地方債					0			0						0
		内 訳	•	その他					0			0		0		0		0
		<u> </u>		-般財源					1,767			4,567		4,676		4,534		4,647
				(C+D)				4	1,767			4,567		4,676		4,534		4,647
		□□直接	美美池						1	沂絲	ال ال	 サ <b>_</b> ービス(	 株)大阪営	 坐				
							委託先	-	2	X- =X				<del>~</del> ///				
	<del></del> -1	☑ 委訊	E又は <sup>·</sup>	一部委訂	ŧ		24,100	-	3									
(10)	実施方法					É	上な委託内!	容	夜間	、±•	日曜	日の貸室	 業務(警備)	業務含)				
(10)	(該当するもの は全部チェック)								1		_							
	でである。	□ 補助	□ 補助金・負担金				交付先		2									
									3									
		ロその	他				内容											

事業番号 00353

			指標項目		項目			7年度 (年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			会議室等の貸館延件数	目標値	(単	4位:件)		4,000.00	4,000.00	0.00
		指標 内容		実績値	(単	<b>Ú位:件</b> )		3,718.00	3,757.00	
	1				達成度(	%)		93.0	93.9	
(		目標値	281日(貸館日数)×3回(午前・午後・夜間)×8室の約60%	単位当た	総事業費	(単位:千円)		1.23	1.24	
1		の積算 方法		りコスト	一般財源	〔(単位:千円)	1.23		1.24	
活動指標				目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(.	単位:)	0.00		0.00	
	2				達成度(	%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
			会議室等の貸館延利用人数	目標値	(単	位:人)		85,000.00	85,000.00	0.00
		指標 内容		実績値	(単	位:人)	78,715.00		77,207.00	
	1				達成度(	達成度(%)		92.6	90.8	
		目標値 の積算 方法	281日(貸館日数)×3回(午前・午後・夜間)×8室×21人(平均利用者人数)の約6		総事業費	(単位:千円)		0.06	0.06	
2 ) 成		方法	0%	りコスト	一般財源	〔(単位:千円)		0.06	0.06	
成果指標				目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(.	単位:)	0.00		0.00	
	2				達成度(%) 総事業費(単位:千円) 一般財源(単位:千円)		0.00		0.0	
		目標値 の積算		単位当た					0.00	
		方法		りコスト					0.00	
の3 が <u>、</u>	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果 内容					達成 状況			
	1	4	 今後の方向性 (実施計画) <b>広充</b>	<b>継</b> 続	Ē		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		<b>卷止</b> □	 終期の設定
(4)総合評価			総合福祉会館は、3- た事業(市主催の事業 祉団体等の福祉活動の 評価の説明	及び各種	団体主催	の事業)を行 <sup>.</sup>	っている	ため公共性	 沚)をもっており、 生も高くなっている	<u>-</u> それらを対象とし

所属名	総合福祉会館				
事務事業番号	00353	事業名	福祉活動の場提供事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u>п</u> пш		рт ішілік	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 投引力担の観点がら足し、中の関子のめが力は過りとすが。 	5	     点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
	妥当性 (20点)			5	 点
(1)		20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			○社会状況の変化で時間の性過に中い、事業の失態思報が得化しいると70万。 	5	 点
			a. 失過急報はする頃じている。(0点)   4   利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u> </u>	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	 点
			1 音歌的なアークで開放二ースが同いことを記述させる。(5点/   1 活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
				5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	20	a. 事業の日間と支出する光生に一致している。(0点)   ③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
				5	
			a. 日標を工画る文は日標とおりの足形状況である。(5点)   ④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	<u> </u>	点
				E	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) <ul> <li>①単位当たりコストは適正ですか。</li> </ul>	5	点 
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3)			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		<u></u>
	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	<u> </u>	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 	2	<u>.</u>
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点) ①サービスの対象範囲は適正ですか。	3	点 
			① りーこへの対象配囲は過止ですか。 	3	
			B. 特定の名を対象としているが、受益者以外の自民から兄ても理解が持られる。(3点)  ②サービスの水準は適正ですか。	<u> </u>	点
					<b>.</b>
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)  ② 済エな妥  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>.</b> 3	点
	(==71117)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。   ************************************		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点 
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 		<u> </u>
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点) 	3	点
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 		<u> </u>
(5)	能性	14	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 	<u> </u>	<u> </u>
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 	5	点
	「点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00353		
2 各視点	れからの評価の点数では表れ	れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務事	■業の現状分析				
	の位置付け	主要な政策課題 」 としての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性       10       5       0       効率性	
(3)現状分	↑析				
4 その他	也(国・府の動向など、当該事	業に関係する特証	已事項)		

事務事業名	介護予防サービス計画策定事業									
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守					

	于初于未UVW	ル <del>文</del>																
(1)	事業開始年度					医療と介護	 隻の連携	<b>售、認</b> 免	口症が	張策の	推進、生活	舌支援と介語	護予防サ-	ービスの充写	実、新しい	・介護予防と	:日常生	
(2)	直近の改正	なし				舌支援総合	_											
(3)	根拠法令等	介護保険法																
		□ 全部		一部(_	上乗せ、	横出し等	あり)		☑ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合はぞ	の説明	1			1									
(5)	総合計画の体系	章 0	3 健儿	康で安心	して暮ら	らせるまち	うづくり				節		04	糸	田節	12		
		:	<b>.</b>		区分	} 🗆 [	内部管理	<u></u>		建設	事業	☑ その他		l .	<u> </u>			
		対象 (誰を、何を)			範囲	等介護係	介護保険法に基づく要支援認定者											
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	<b>)か)</b>	福祉の	福祉の増進を支援します。												
		結果 (どのような効果	見が得られ	の健康の	建康の保持及び地域において、尊厳ある生活の維持が図られます。													
(7)	事業概要	介護保険の要要支援認定者 か月には1回	介護保険の指定介護予防支援事業所としての業務です。 介護保険の要支援認定者の介護予防サービス計画策定業務を実施するものです。 要支援認定者の状況やニーズに合わせ、自立支援につながるよう介護保険サービス等の支援計画を策定します。毎月、状況把握を行い、3 か月には1回必ず家庭訪問を行い、計画の評価を行います。介護報酬請求事務も行います。 サービス計画の一部については、民間の指定介護支援事業所へ委託を行っています。															
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	03	項		01		 目	10	大事業	05	中事業	01	小事業	01	
		-	項		<u>.</u>		<u> </u>	平成2 (2015			:	-	平成2 (2016			平成29: (2017年		
				予	· 算(千P	9)		—— 決算(	(千円)	予算( <del>-</del>	<b>斤円</b> )	決算見込	(千円)	 予算(千	一円)			
			事業費	₹(A)			11				12,881		10,048		9,840		0	
		人件費	職	職員数  人			4.00				4.00		3.00		3.00		0.00	
		八仟貝	総額	類(B)	千円	9	3		3,408		32,156		24,510		23,700		0	
		総	事業費	(A+B)	•	44,971			45,037			34,558		33,540		0		
(9)	事業費と		特定財法	原(C)		11,563			23,271			14,820		14,318		0		
	財源の内訳	<u></u> 内		国			0				0	0		0		0		
		訳		府				0			0		0		0		0	
				の他				11,563				<del> </del>		· ·		+		
			市負担					33,408			21,766			·			0	
				<u>方債</u> の他				0			0		0		0		0	
		訳		の他 一 没財源				33,408			21,766		19,738		19,222		0	
								44,971			45,037		34,558		33,540		0	
		□ 直接		<u> </u>				14,571			40,007		04,000		00,040			
					I			1	指定	 居宅	介護支援	 事業所						
				4- <b>-</b>		委託	先	2										
		□ 図 委託	又は一	·部委託				3										
(40)	実施方法					主な委託	 托内容	介護	予防	サー	 ビス計画第	定業務						
(10)	(該ヨ9るもの							1										
	は全部チェック)	□ 補助	]金•負担	旦金		交付	先	2										
								3										
	-	□ その	_ <del></del> )他	内	<u></u> 容													

		)指標等	指標項目	<u> </u>		項目			?7年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)		
			介護予防サービン 平成28年度より		目標値	(単	·拉()		375.00	249.00	251.00		
		指標 内容			実績値	(単	i位:人)		425.00	251.00			
	1					達成度(%)			113.3	100.8			
		目標値		サービス利用者数前年度実績 E度より片山地域のみ		総事業費(単位:千円)			105.97	136.8	5		
1		の積算 方法			単位当たりコスト	一般財源	(単位:千円)		51.21	79.8			
活動指標					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00			
	2					達成度(	%)		0.0	0.0			
		目標値		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00				
		の積算 方法		りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00				
			介護予防サービス (介護予防支援幸	<b>叕酬請求件数</b> )	目標値	(単	拉位:件)		4,304.00	2,844.00	2,998.00		
		指標 内容	平成28年度より	片山地域のみ	実績値	(単	位:件)		4,851.00	2,998.00			
	1					達成度(%)			112.7	105.4	1		
		目標値 の積算	介護予防サービス (介護予防支援報	<b>强酬請求件数</b> )	単位当た	総事業費	(単位:千円)		9.28	11.40	3		
2 		方法	平成28年度より	片山地域のみ	りコスト	一般財源	(単位:千円)		4.49	6.68	3		
成果指標					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00		
標		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00			
	2						%)	0.00		0.0			
		目標値 の積算		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00						
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)	0.00		0.00			
の の が 困指	1	活動 内容						目標					
難に場合	2	成果 内容											
	•	4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	t	□ 縮小	`	<b>☑ 月</b>	<b>廃止</b> □	終期の設定		
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	きな変更はありませ、 活支援総合事業を開 付の枠組みからはす は早急に実施方法を す。 また、総合福祉会員 き、平成30年度より 介護予防・日常生活	んが、平成2 開始します。これ が、平成2 計れ、同事、地域 に決定し、一、 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	援事業とともに地域包括支援センターの必須事業です。平成28年度は事業内容が、平成27年4月の介護保険制度改正により、平成29年4月から介護予防・日始します。これまで要支援1,2の認定者が利用していたサービスの一部が介護予れ、同事業の1つである介護予防・生活支援サービス事業に移行します。変更に決定し、地域包括職員、居宅介護支援事業所に研修を実施し、併せて市民に周知が所管する片山地域包括支援センターについては、アウトソーシング推進計画に養務委託を行い、委託型地域包括支援センターへと置き換えます。 支援総合事業の開始に伴い、介護予防サービス計画策定事業は平成29年度よ等作成事業に移行します。							

所属名	総合福祉会館				
事務事業番号	00354	事業名	介護予防サービス計画策定事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点					
<u>птіш</u> 	1071九	四丁  四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)					
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	点			
				5	     点			
(1)	妥当性 (20点)	18	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J				
			○社会状況の変化や時間の性過に件が、事業の実施思義が得がていると70万。 	5	     点			
			4  スル思報はする頃とである。(3M/)   4  利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J				
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	   点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	<u> </u>	, m			
			① / 1 到 1 日 1 示	3	   点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	3				
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	   点			
(2)	(2) 有効性 (20点)	18	a. 事業の日間と支 <del>監</del> 省は光主に 或じている。(3 <u>M</u> )  ③事業は目標どおりに進捗していますか。	J	从			
				5	<u></u>			
			a. 日標を工画るとは日標とおりの進歩状況である。(5点)   4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	J	点			
				F	<u></u>			
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点) <ul> <li>①単位当たりコストは適正ですか。</li> </ul>	5	点 			
			①早121 ヨたりコストは適正ですか。 	E				
				5	点			
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	E				
(3)	効率性 (20点)	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	E	<u></u>			
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)   ④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	5	点 			
			仕事業于法の検討、事務以告に取り組むなど、事業効率の向上に劣めていますが。 	3	<u></u>			
			(1)サービスの対象範囲は適正ですか。	ა	点 			
			①リーに入び対象配西は過止ですが。 	3	<u></u>			
			B. 特定の名を対象としているが、受益者以外の中氏から見ても理解が待られる。(3点)  ②サービスの水準は適正ですか。	<b>.</b>	点			
				E				
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	3	点			
	(==71117		③適正な受益者負担を求めていますか。					
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点			
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		 			
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	Э	点 			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 		<u> </u>			
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	5	点 			
	持続可		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 	_				
(5)	能性	16	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	5	点 			
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	_	<u> </u>			
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	3	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	-				
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	3	点			
	i点合計 点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))					

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00354							
2 各視点	各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)									

## 3 事務事業の現状分析

3 争扬争未以犹从为彻 ————————————————————————————————————			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 10 5 0 公平性 対率性	
(3)現状分析	業として定められています。介護予防とともに、一部は民間の指定居宅介証 平成27年4月の介護保険制度改正ます。これまで要支援1,2の認定者に同事業の1つである介護予防・生活す	おいて地域包括支援センターが包括的支 サービス計画作成については、地域包持 隻支援事業所に委託して事業を進めてき Eにより、平成29年4月から介護予防・日 が利用していたサービスの一部が介護予 支援サービス事業に移行します。変更に2 事業所に研修を実施し、併せて市民に周	舌支援センター職員が担当する ました。 常生活支援総合事業を開始し 防給付の枠組みからはずれ、 Oいては早急に実施方法を決

## 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

総合福祉会館が所管する片山地域包括支援センターについては、アウトソーシング推進計画に基づき、平成30年度より業務委託を行い、委託型地域包括支援センターへと置き換えます。

事業番号 00355
------------

事務事業名	生活介護施設運営事業						
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守		

(1)	事業開始年度	昭和62	2年度		改正	改正 障害者自立支援法			づく生	主活介	↑護事業 <i>だ</i>	から障	害者の	日常生活	舌及び社会	生活を総	合的に支持	爰するた	
(2)	直近の改正	平成24年度			内容														
(3)	根拠法令等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、吹田市総合福祉会館条例																	
		☑ 全	部		-部(上乗	□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
(4)	市単独事業区分		こチェック	した場合	合はその	その説明													
(5)	総合計画の体系	章 03 健康で安/			で安心して	て暮ら	せるまちづくり				節	Ī		03		細節	32	2	
			<u> </u>	I		区分	□ 内部管理	1				7	その作	<u> </u>					
(6) 目		対象 (誰を、		<b></b>	<b>范囲</b> 等	等 在宅の身体障がい者及び知的障がい者。													
	目 的	目標 (どういう	状態にした	こいのか	) É	自立の促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図ります。													
		結果 (どのよう	うな効果が	得られる	のか) 社	t会参	∳加の促進。												
(7)	事業概要	和62年 援費制 年10月	4月の開 度、平成	設以来 18年4 を委託	、在宅随 月から障 しました	がい 害者 。また	M所による創作的者デイサービス自立支援法のも こ、平成24年のう	として とで	重度 事業を	障が 実施	い者を対 し、平成	象とし 19年	て実施 4月か	してきま ら新体系	したが、平 である生活	成15年4 5介護事業	月からの質 へ移行し、	害者支 平成24	
(8)	H28事業別 予算コード	会計	+ (	01	款	03	項(	01		Ħ	10	大	事業	06	中事業	01	小事業	01	
	7 37-7		<u>.</u> ]	項目					7年月				•		8年度 年度)		平成29 (2017 <sup>2</sup>		
							予算(千円	])	;	決算(	千円)	1	予算(-	千円)	決算見記	込(千円)	予算(-	千円)	
		事業費(A)			.)		5	52,055			52,324	1		52,153		52,634		52,303	
		人件	. 弗	職員数	0.000 人		1.00				1.00	)		1.00		1.00		1.00	
		XII	総額(B)		B)	千円		8,352		8,039		9	8,170			7,900		8,052	
		総事業費(A+B)					60,407			60,363 60,3			60,323		60,534	60,355			
(9)	事業費と 財源の内訳	l	≧財源(€	C)		3:	2,042	28,419		-	27,360		29,270		32,624				
	対がなったり			玉				0		0			0		0			0	
		訳					0			0	1		0	0					
		$\overline{}$		その作				2,042	28,419			+	27,360				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
			Ψ.	負担(D 地方個			2	8,365 0		31,944			32,963			31,264		27,731	
		内		その他			+	0		0				0 0					
		訳		一般財			2:	8,365			31,944	1	32,963					27,731	
			財源	計(C+	-			0,407			60,363				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			60,355	
			直接実					•	<u> </u>		· ·	1		•	Į	•	<u> </u>		
								1	株式	会社	オールケ	アライ	(フ						
			<b>禾</b> 红豆	(十二立)7 =	禾红		委託先	2											
	宝饰士注		委託又	14 _ ub:	安託			3											
(10)	実施方法						主な委託内容	生活	介護	事業									
. 10)	(該当するもの は全部チェック)		-		-			1											
	10 T HP / T / / /	□ 補助金·負担金			È		交付先	2											
						_		3											
		□ その他					内容												

事業番号 00355

		) 括係る	指標項目			項目	l		7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
			年間延べ利用者	数	目標値	(1)	単位:人)		2,187.00	2,430.00	2,450.00	
		指標 内容			実績値	実績値 (単位:人)			1,865.00	2,018.00		
	1					達成度	(%)		85.3			
$\hat{}$		目標値	245日(開所日数 者数)	收)×10人(1日最大利	用単位当た	総事業費	費(単位:千円)		32.37	30.13		
1 		の積算 方法			りコスト	一般財派	原(単位:千円)		17.13	15.63		
活動指					目標値		(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)			0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値		(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容					(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度	E(%)		0.0	0.0		
<u></u>		目標値 の積算			単位当た	総事業費	業費(単位:千円)		0.00	0.00		
成		方法			りコスト	一般財源	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
果指		15.1-			目標値		(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			9321	りコスト 一般財源(単位:千円		0.00		0.00		
( の3 が 困指	1	活動内容						目標				
難な場合	2	成果 内容		実現、健康状態の把握 二次障がいの予防の実 の実施。				集団生活と家庭生活のサイクルが維持できてり、他の利用者さんの気持ちを配慮することがまた。 社会参加への意欲向上がみえる。				
		4	・ う後の方向性 (実施計画)	☑ 拡充	□ 継続	ŧ	□縮小	`		廃止 □	終期の設定	
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	医療的ケアが必要な 合福祉会館の生活: 事業の担い手につ 業の安定的な継続。 る職員数を8.5人 人数は11人、平成: 業される予定で重度	は障がい者の介護事業のかいでは、平月をめざし、平年度の6.5に増員したた28年度の1に障がいのた	年開所当初から障害者福祉センターの主事業に掲げてきた事業ですが、重複及び がい者のニーズに対応する入浴サービスを提供できる生活介護事業所として、総 襲事業の役割は重要となっています。 ては、平成24年9月末まで市直営で運営していましたが、本事業のコスト削減と事 りざし、平成24年10月から民営委託に変更しました。平成25年度は、療育に携わ まの6.5人から7.5人に増員し、平成27年度にはさらに利用人員の増加を図るた 負したため委託料を増額しました。現在の登録人数は19名、1日あたりの受入れ 年度の1日平均利用者は8.3人となっていますが、支援学校を平成30年3月に卒 がいのために医療的ケアを必要とする生徒2名が、平成30年4月から総合福祉会 いるため、職員の増員や送迎車両の増車等についての委託料の拡充を予定してい						

 所属名
 総合福祉会館

 事務事業番号
 00355
 事業名
 生活介護施設運営事業
 事業区分
 その他

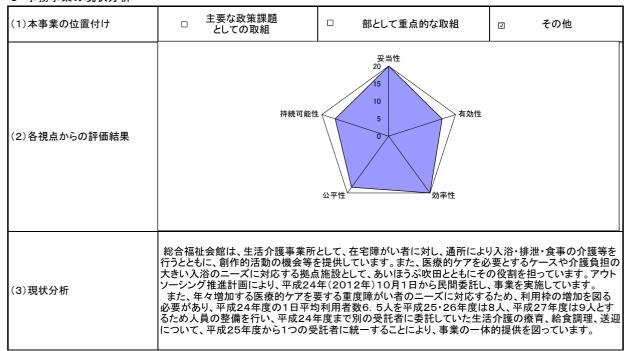
	<del>児屈からの</del> iの視点	評価点	※内部官理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
	立工料		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	妥当性 (20点)	20	L		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
	有効性		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) (20点)		16			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	10	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
· = \	持続可	16	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

#### 2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成27年度から1日の平均利用者数を10人受け入れられるための人員の整備等を行っています。平成26年度は、利用者の入院やインフルエンザによる欠席等のため、1日の平均利用者数は7.0人にとどまっていましたが、平成27年度については7.6人、平成28年度については8.3人に増加しています。

また、平成24年10月から長期継続契約をしていた業者との契約期間が終了し、平成27年10月からはプロポーザル方式により選定された 新たな事業所による運営に変わったため、利用者や家族の方からは、引き続き同等のサービスが継続できるのかと不安もあったが、概ね満 足のいくサービスが受けられている。今後も利用者やその家族からの意見を傾聴し、サービスの向上に繋げられるよう図っていきます。

#### 3 事務事業の現状分析



### 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

国の動向として、平成25年4月1日より本事業の根拠法令となっている「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に変更されたため、総合福祉会館条例等の改正を行ったところです。

事業番号	00356
ナベ田ワ	00000

事務事業名			陶芸教室事業		
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

(1)	事業開始年度	昭和62年度	Ę		改正	陪宝	含含含	単半の経	温井	男셇フロ	- 伴う理	5 領名称の	亦亩				
(2)	直近の改正	平成19年度	Ę		内容	다 쥐	1日日北久以	友/厶♥ノ小エ	迎油	直心 1 い	~ IT J'>	えばむ いい	<b>炎</b> 丈。				
(3)	根拠法令等	吹田市立総·	合福祉	会館福祉	止増進≆	事業等	等実施要領										
		☑ 全部		二 一部	上乗せ	上、横	出し等あり)	)		なし(国	国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	する義務は	あり)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	た場合は	その説	:明			1								
(5)	総合計画の体系	章 C	03	建康で安に	心して暮	事らせ	とるまちづくり	Ŋ		飦	Ť	İ	03		細節	33	3
		·			区	分	□ 内部管	9理		建設事	業	☑ その	也				
		対象 (誰を、何を)	)		範囲	囲等	在宅の身体	は障がい:	者及征	び知的障	がい者	Ĭ.					
(6)	目的	目標 (どういう状態)	にしたい	(のか)	事第	美を選	近て、障がし	い者の自	立と	:社会参加	加を促済	進し、生きた	いを高め	ます。			
		結果 (どのような効:	果が得ら	られるのか	() 障が	バい者	舌の健康の地	曽進と社	会活	動への参	参加の仏	促進。					
(7)	争未恢安	在宅障がい <sup>:</sup> 合福祉会館:				業を	行うことによ	り、機能	訓練	҈∙日常生	活訓網	東を図ります	<sup>-</sup> 。毎週水	曜日に午前	前の部・午	-後の部とし	て、総
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	0	)3	項	01	E	∄	14	大事業	02	中事業	01	小事業	01
			項	目				平成2 (2015					平成2 (2016	8年度 年度)		平成29 (2017 <sup>2</sup>	
			項	目		-	予算(千	(2015	年度		円)	予算(-	(2016		△(千円)		年度)
				目 費(A)			予算(千	(2015	年度	)	円) 2,101	予算(-	(2016	年度)	2,088	(2017	年度)
		人件費	事業領職	費(A) 職員数		ر ر	予算(千	(2015 千円) 2,110 0.25	年度	)	2,101 0.25		(2016 千円) 2,110 0.25	年度)	2,088 0.25	(2017	年度) 千円) 2,110 0.25
			事業領職総	費(A) 職員数 ※額(B)	Ŧ	人 ·円	予算(千	(2015 千円) 2,110 0.25 2,088	年度	)	2,101 0.25 2,010		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043	年度)	2,088 0.25 1,975	(2017	年度) 千円) 2,110 0.25 2,013
	<b>車業</b> 表し	総	事業資	費(A) 職員数 診額(B) 費(A+B	Ŧ		予算(千	(2015 千円) 2,110 0.25 2,088 4,198	年度 注	)	2,101 0.25 2,010 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063	(2017:4 予算(-	年度) 千円) 2,110 0.25 2,013 4,123
(9)	事業費と 財源の内訳	総	事業資	費(A) 職員数 終額(B) 費(A+B)	Ŧ		予算(千	(2015 千円) 2,110 0.25 2,088 4,198	年度	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063	予算(-	手度) 千円) 2,110 0.25 2,013 4,123 0
(9)		総	事業資	費(A) 職員数 終額(B) 費(A+B 材源(C)	Ŧ		予算(千	(2015 千円) 2,110 0.25 2,088 4,198	年度	)	2,101 0.25 2,010 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063	(2017:4 予算(-	手度) 千円) 2,110 0.25 2,013 4,123 0 0
(9)		<b>**</b>	事業資料定財	費(A) 職員数 終額(B) 費(A+B)	Ŧ		予算(千	(2015 子円) 2,110 0.25 2,088 4,198 0	年度	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0	予算(-	手度) 千円) 2,110 0.25 2,013 4,123 0
(9)		総	事業行 総総事業費特定財	費(A) 職員数 診額(B) 費(A+B 材源(C) 国	Ŧ		予算(干	(2015 年円) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0	年度	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0	予算(-	千円) 2,110 0.25 2,013 4,123 0 0
(9)		(内 (内 (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大)	事業計 総 総事業費 特定財 で 市負担	費(A) 職員数 終額(B) 費(A+B 材源(C) 国 府	Ŧ		予算(干	(2015 子円) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0	年度 注	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0	(2017:	手度) 110 110 110 110 110 110 110 11
(9)		総	事業計 総 総事業費 特定財 市負担	費(A) 職員数 終額(B) 費(A+B 材源(C) 国 府 その他 担(D)	Ŧ		予算(干	(2015 子円) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0 0 0 4,198	年度	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0 0 0 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0 0 0	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0 0 4,063	(2017:2	手度) 110 110 110 110 110 110 110 11
(9)		(内訳) (内訳)	事業計 解総 総事業費 特定財 市負担	費(A) 職員数 終額(B) 妻(A+B 才源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その他 般財源	Ŧ		予算(干	(2015 年刊) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0 0 4,198 0 0	年度 ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0 0 4,111 0 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0 0 4,153 0 0 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0 4,063 0 4,063	(2017:2	手度) 子円) 2,110 0,25 2,013 4,123 0 0 4,123 0 0 4,123
(9)		(内訳) (内訳)	事業計 総総事業費 特定財 名 市負担 そ そ こ こ まままままままままままままままままままままままままままままま	費(A) 職員数 終額(B) 費(A+B 才源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その他	Ŧ		予算(千	(2015 子円) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0 0 4,198 0	年度 ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0 0 0 4,111 0		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0 0 4,153 0	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0 0 4,063 0	(2017:2	手度) 子円) 2,110 0.25 2,013 4,123 0 0 0 4,123 0 0
(9)		(内訳) (内訳)	事業計 総総事業費 特定財 名 市負担 そ そ こ こ まままままままままままままままままままままままままままままま	費(A) 職員数 終額(B) 妻(A+B 才源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その他 般財源	Ŧ		予算(干	(2015 (2015 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0 4,198 0 4,198 4,198	年度 ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0 0 4,111 0 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0 0 4,153 0 0 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0 4,063 0 4,063	(2017:2	手度) 子円) 2,110 0,25 2,013 4,123 0 0 4,123 0 0 4,123
(9)		(内訳) (内訳) 回前	事業計 総 事業 特定財 有 対 表 一 財源 施	費(A) 職員数 終額(B) 妻(A+B 才源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その他 般財源	1	- П	委託先	(2015 (2017) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0 4,198 0 4,198 4,198 1 2 3	年度 ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0 0 4,111 0 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0 0 4,153 0 0 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0 4,063 0 4,063	(2017:2	手度) 子円) 2,110 0,25 2,013 4,123 0 0 4,123 0 0 4,123
(10)	財源の内訳	(内訳) (内訳) 回前	事業計 総 事業 特定財 有 対 表 一 財源 施	費(A) 職員数 終額(B) 妻(A+B 才源(C) 国府 その他 担(D) 地方債 その他	1	- П		(2015 (2017) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0 0 4,198 4,198 1 2 3	年度 ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0 0 4,111 0 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0 0 4,153 0 0 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0 4,063 0 4,063	(2017:2	手度) 子円) 2,110 0,25 2,013 4,123 0 0 4,123 0 0 4,123
	財源の内訳	(内訳) (内訳) (内訳)	事業計 総	費(A) 機額(B) き(A+B 対源(C) 原 その他 地方債 その他 (C+D)	1	- П	委託先	(2015 (2017) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0 0 4,198 4,198 1 2 3	年度 ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0 0 4,111 0 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0 0 4,153 0 0 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0 4,063 0 4,063	(2017:2	手度) 2,110 0.25 2,013 4,123 0 0 0 4,123 0 0 4,123
	財源の内訳 実施方法 (該当するもの	(内訳) (内訳) 回前	事業計 総	費(A) 機額(B) き(A+B 対源(C) 原 その他 地方債 その他 (C+D)	<b>1 1</b>	- П	委託先	(2015 (2017) 2,110 0.25 2,088 4,198 0 0 0 4,198 4,198 1 2 3	年度 ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・ジョー・	)	2,101 0.25 2,010 4,111 0 0 0 4,111 0 4,111		(2016 千円) 2,110 0.25 2,043 4,153 0 0 0 4,153 0 0 4,153	年度)	2,088 0.25 1,975 4,063 0 0 4,063 0 4,063	(2017:2	手度) 2,110 0.25 2,013 4,123 0 0 0 4,123 0 0 4,123

事業番号 00356

			指標項	<b>1</b>		項目	l		27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			実施回数		目標値	(.	単位:回)		96.00	96.00	96.00
		指標 内容			実績値	(.	単位:回)		96.00	96.00	/
	1					達成度	ξ(%)		100.0	100.0	
<u></u>		目標値	年間教室実施回 概ね毎週水曜日	数 2回(午前·午後)×年48	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		42.82	43.03	1 /
1 ~		の積算 方法	週		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		42.82	43.03	
活動指			延べ利用人数		目標値	(.	単位:人)		1,152.00	1,152.00	1,152.00
標		指標 内容			実績値	(.	単位:人)		736.00	703.00	/
	2					達成度	E(%)		63.9	61.0	
		目標値 の積算	15人(1回あたり ×96回(年間教	Jの定員)×80%(出席率) 室実施回数)	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		5.59	5.88	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		5.59	5.88	
					目標値		(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度	E(%)		0.0	0.0	
<u></u>		目標値 の積算			単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
) 成		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
果指					目標値		(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値		(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	E(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
。 の3 が 困指	1	活動内容						目標			
難な場合	2	成果内容	陶芸教室を開催 参加を促進しまっ	することにより、在宅障がし す。	*者の日常	生活能力	を高め、社会	達成 状況		への参加で創造力 C社会参加も促進さ	が高まり、互いの交 れています。
		4	ト 今後の方向性 (実施計画)	111111	2 継続		□縮小		1	-	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	在宅の障がい者を対コミュニケーションを重指すなど評価できる素利用者が限定される。高齢や病気等の理由で障がい者を対象としたより生きがいを高める事	重視した創業です。 教室です。 教室ですで教室を√で で教となれ、超	削作的活 が、広報 さめる方 図味、教建	動の場として   や参加者の口 もあり、結果と を教室が少なる	自立の促 1コミ等に :して参加 く、参加者	!進、生きが こより新規 コ者が増え 者が教室を	がいの醸成、身体 参加者も増えていない状況が続い ・通じて相互の交	本機能の維持を目 います。一方で、 いています。 ミ流を深めることに

 所属名
 総合福祉会館

 事務事業番号
 00356
 事業名
 陶芸教室事業
 事業区分
 その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
1	100/10	пт рази	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		AN.
	ᄑᄱᄴ		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	妥当性 (20点)	16			
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
	有効性		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	16			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
	効率性		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3)	(20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	10	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
·E)	持続可	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 総合福祉会館	事務事業番号 00356		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	·記載)	
3 事務事業の現状分析 (1)本事業の位置付け	主要な政策課題  としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能(	妥当性 20 15 10 5 0 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4	
(3)現状分析	参加しているという点があり、対応でており、今後事業の継続のためには	崔できるよう検討を進めていますが、障ができる実施主体、類似事業がなく苦慮して は、窯の更新が不可欠であります。 がい者に、少しでも多くの機会が提供でき	います。また、窯が老朽化し
4 その他(国・府の動向かど	当該事業に関係する特記事項)		
	<b>一以于不下以以</b> ,可可此事例		

事業番号	00357
, riv pa 3	

事務事業名			料理教室事業		
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

(1)	事業開始年度	昭和62	年度		改正	R音 5	害者自立支	怪法の約	又:四世	罟紁	ファルシュ	5 領夕称の	亦亩				
(2)	直近の改正	平成19	年度		内容	早	占有日立义	、「友」ムリル	土地田	巨松	) ICIT /3	で限つかり	<b>友</b> 丈。				
(3)	根拠法令等	吹田市	総合福祉	会館福	祉増進事	業等	実施要領										
		☑ 全部	部		部(上乗	せ、楫	黄出し等あり	J)		なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	よる義務は	59)	
(4)	市単独事業区分		ニチェック	した場合	合はその記	说明											
(5)	総合計画の体系	章	03	健康で	安心して	暮ら <sup>.</sup>	せるまちづく	くり			節		03	i	細節	33	}
				1		☑分	□ 内部	管理		建設	事業	☑ その	他	·			
(C)	- W	対象 (誰を、	何を)		範	囲等	在宅障が	い者及び	·その:	介護者	<b>š</b> .	l					
(6)	目 的	目標 (どういう	状態にした	こいのか)		業を	通じて、障か	がい者の日	自立と	:社会	参加を促	進し、生きた	いを高め	ます。			
		結果 (どのよう	が象別が	得られる	のか) 障	がい	者の健康の	)増進と社	t会活	動へ	の参加の何	促進。					
(7)	事業概要	在宅の	軽度障が	い者に	対し、料理	里教室	울(年4回) 청	を通じて、	機能	訓練・	日常生活	訓練を行い	ます。				
(8)	H28事業別 予算コード	会計	+ (	01	款	03	項	01		1	14	大事業	02	中事業	02	小事業	01
	7.57			項目					27年 5年度				平成2 (2016			平成29 (2017 <sup>2</sup>	
							予算(	千円)		決算(	千円)	予算(	千円)	決算見辺	(千円)	予算(-	千円)
			事	業費(A	)			22	2		22		22		22		22
		人件	費 —	職員数	<b>t</b>	人		0.05	5		0.05		0.05		0.05		0.05
		,,		総額(		f円		418	_		402		409		395		403
	***			<b>養(A−</b>				440	4		424		431		417		425
(9)	事業費と 財源の内訳		特证	E財源(0 国	3)		1	C			0		0		0		0
		内一							_		0		0		0		0
		訳		その化	hį						0		0		0		0
			市	負担(D				440	)		424		431		417		425
		<u> </u>		地方個	Ę			C	)		0		0		0		0
		内訳		その化	<u>ե</u>			C	)		0		0		0		0
		Ü		一般財				440	)		424		431		417		425
				計(C+	D)			440	)		424		431		417		425
		<b>4</b>	直接実	施		1		1.0									
	実施方法		委託又	は一部	委託		委託先	① ② ③									
(10)	(該当するもの					+=	主な委託内	<b>谷</b>									
	は全部チェック)		補助金	• 負扣会	•		交付先	2	+								
			1111-77 31	>< 1± 4£			~1170	3	1								
			その他				内容										

事業番号 00357

			指標項目	l		項目	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			料理教室実施回	数	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	4.00
		指標 内容			実績値	(単位:回)	4.00	4.00	/
	1					達成度(%)	100.0	100.0	
_		目標値	料理教室年4回		単位当た	総事業費(単位:千円)	106.00	107.75	
1 —		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	106.00	107.75	
活動指			料理教室参加者	数	目標値	(単位:人)	80.00	80.00	80.00
標		指標 内容			実績値	(単位:人)	80.00	66.00	/
	2					達成度(%)	100.0	82.5	
		目標値 の積算	料理教室定員20	人×4回	単位当た	総事業費(単位:千円)	5.30	6.53	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	5.30	6.53	
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
2		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
0 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
果指					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
の が 困 難標	1	活動内容	料理券室を通して	- 機能訓練・日堂生活	- 訓練を行いて	建康の増進と社会活動	目標 暗がい考	の健康が増進され	社会活動への参加
な場合	2	成果 内容		させ、生きがいを高めて		<b>在体</b> 分号是C(IAII)		んており、生きがいる	
		4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□ 縮小	• -	廃止 □	終期の設定
(4)総	合評					ニケーションと交流を 足しています。 教養文			

 所属名
 総合福祉会館

 事務事業番号
 00357
 事業名
 料理教室事業
 事業区分
 その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
1111111	1507111	пт рази	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		AN.
	TT VI MA		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	妥当性 (20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		AW.
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			③ 入場をはら 7 000 00 (0 m/)		AW.
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		AW.
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標股定をしている。又は指揮股定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	<del></del>		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		AW.
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		AW.
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		AW.
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
					7111
	ᅭᅭᄽ		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3)	効率性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			L		
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18			
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			L		
	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	L		
	\ <b>/</b> /		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	・ ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 総合福祉会館	事務事業番号	00357	7	
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に	応じて記載)	_	
3 事務事業の現状分析				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題	- 音	るとして重点的な取組 のとして重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	‡	持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 有効性	
(3)現状分析	生きがいを高める障がい者に加やニーズの多様化を踏まい障がい者に、少しでも多くの	に対する文化教室等 え、どのように充実し の機会が提供できる	の開催が少なく、当該事業・ ていくのか検討が必要です ような環境を整えておく必要	も含めて、高齢障がい者の増 。今後も文化活動機会の少な があると考えます。
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	3事項)		

事業番号 00358
------------

事務事業名					
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

(1)	事業開始年度	昭和62年度	Ę		改正	陪写	<b>三</b> 者自立支持	至注の終	温世	罢级"	フル/半ス甲	5 毎夕 称の	亦再				
(2)	直近の改正	平成19年度	Ę		内容	14	54 H T X 17	友/ムリ州土	四阳	巨松	」に肝力を	₹限 <b>石</b> 你叨	友丈。				
(3)	根拠法令等	吹田市総合	福祉会	館福祉	増進事業	業等:	実施要領										
		② 全部		□ 一部	(上乗せ	、横	出し等あり)	)		なし	(国•府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	よる義務は	59)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックし#	た場合に	はその説	明											
(5)	総合計画の体系	章 (	03 俊	建康で安	心して着	事らせ	せるまちづくし	Ŋ			節		03	i	細節	3:	3
			•		区	分	□ 内部管	管理		建設	事業	☑ その付	也				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	1		範囲	里等	在宅障がい	*者及び	そのか	个護者	Ť.						
(0)	п н	目標 (どういう状態にしたいのか)				事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。											
		結果 (どのような効	果が得ら	られるのか	<sub>か)</sub> 障ヵ	がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。											
(7)	事業概要	在宅の軽度	障がい	者に対し	し、社交·	ダン	ス教室(年5	5回)を通	じて、	機能	訓練・日常	常生活訓練	を行いま	す。			
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	0	3	項	01	E	1	14	大事業	02	中事業	03	小事業	01
		項目						平成2 (2015						8年度 年度)		平成29 (2017:	
							予算(干		ž	夬算(	千円)	予算(-		決算見辺	(千円)	予算(	
		事業費(A)					0.05				28				28		28
		人件費		競員数 額(B)		円					0.05 402				0.05 395		0.05 403
		#4		酸(D) B(A+E		П	418 446				430	409			423		431
(9)	事業費と			·(C)	-,	0			0			-		0			
(9)	財源の内訳	$\hat{}$		国				0	0			0		0			0
		内		府				0			0		0		0		0
		· )	7	その他				0			0		0		0		0
	ı			担(D)				446			430		437		423		431
		<b>内</b>		也方債				0			0		0		0		0
	ı	訳		その他 般財源				0 446			430		437		0 423		431
		<u> </u>		(C+D)				446			430		437		423		431
		☑直拍		,			l							<u>I</u>			
								1									
	ı	□ 委訓	∓∇ <i>I</i> +-	_	ı.		委託先	2									
	実施方法		10	마포미	L			3									
(10)						È	な委託内容										
	(該当するもの は全部チェック)	_ ++-	<b>LA</b> ~	. <del>L</del> II A			÷./	1									
		□補用	り玉・貝	担金			交付先	2									
		□ <b>そ</b> 0	D他				内容	3									

事業番号 00358

			指標項目	1		項目		7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			社交ダンス教室	<b>実施回数</b>	目標値	(単位:回)		5.00	5.00	5.00
		指標 内容			実績値	(単位:回)		5.00	5.00	
	1					達成度(%)		100.0	100.0	
		目標値	社交ダンス教室学	≢5回	単位当た	総事業費(単位:千円)		86.00	87.40	
1 —		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		86.00	87.40	
活動			社交ダンス教室	参加者数	目標値	(単位:人)		75.00	75.00	75.00
指標		指標 内容			実績値	(単位:人)		75.00	42.00	
	2					達成度(%)		100.0	56.0	
		目標値	社交ダンス教室の	定員15人×5回	単位当た	総事業費(単位:千円)		5.73	10.40	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		5.73	10.40	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
<u></u>		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
一成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
果指					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	] /
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	] /
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
の の が 困指	1	活動 内容					目標			
難に場合	2	成果 内容		を通じて、機能訓練・日 促進させ、生きがいを高		行い、健康の増進と社会 。	達成 状況		の健康が増進され、 れており、生きがいを	社会活動への参加を高めています。
		4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□ 縮小	<u> </u>		廃止	終期の設定
(4)総	合評		評価の説明	軽度の障がい者を には達しないながら だと考えます。	対象にコミュ- 5も多くの参加	ニケーションと交流を 1者があります。教養2	重視した(4 文化活動 <sup>の</sup>	中間づくり 等の機会	と生きがいづくりのを提供する事業と	の場として、定員 として有効な手段

 所属名
 総合福祉会館

 事務事業番号
 00358
 事業名
 社交ダンス教室事業
 事業区分
 その他

	見点からの iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
1111		ит рази	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		<i>a</i> w
	ᄑᄱᄴ		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	妥当性 (20点)	14			
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
	。 有効性		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	16			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			・ ①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
\	効率性		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3)	(20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	10	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(E)	持続可	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 総合福祉会館	事務事業番号 00358			
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	(記載)		
3 事務事業の現状分析 (1)本事業の位置付け	主要な政策課題	□ 部。	として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能		妥当性 200 10 5 0 3 3 4 3 5 5 0 3 3 4 3 4 4 3 4 4 4 5 4 5 7 5 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7	
(3)現状分析	生きがいを高める障がい者に対す 加やニーズの多様化を踏まえ、どい い障がい者に、少しでも多くの機会	のように充実じ	ていくのか検討が必要です	。今後も文化活動機会の少な┃
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項	)		

事務事業名			民謡教室事業		
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守

(1)	事業開始年度	昭和62年度										三領名称の	亦面				
(2)	直近の改正	平成19年度	Ę		内容	华亡	34 H X X 1	友/ムリハ	旭阳	巨松	」に肝力を	₹限 <b>石</b> 你叨	<b>文</b> 文。				
(3)	根拠法令等	吹田市総合	福祉会	館福祉	増進事業	業等:	実施要領										
		☑ 全部		□ 一部	(上乗せ	ŀ、横	出し等あり	)		なし	(国•府制	削度もしくは	法令等で	市が実施す	トる義務 あ	59)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	・ックした	た場合に	はその説	.明											
(5)	総合計画の体系	章 (	03 俊	健康で安	心して暮	事らt	せるまちづく	[4]			節		03	ź	細節	3:	3
					区	分	□ 内部包	管理		建設	事業	☑ その付	也	•			
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	)		範围	囲等	在宅障がし	ハ者及び	その:	介護者	Ť.						
(0)	L #3	目標(どういう状態にしたいのか)				事業を通じて、障がい者の自立と社会参加を促進し、生きがいを高めます。											
		結果 (どのような効	結果 (どのような効果が得られるのか) 障が				がい者の健康の増進と社会活動への参加の促進。										
(7)	事業概要	在宅の軽度	障がい	・者に対	し、民謡	教室	₹(年3回)を	通じて、	機能	訓練・	日常訓練	を行います	0				
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	7 0	)3	項	01	ı	3	14	大事業	02	中事業	04	小事業	01
		項目						平成2 (2015					平成2 (2016	8年度 年度)		平成29 (2017:	
							予算(-		_	決算(	千円)	予算(-		決算見込		予算(	
		事業費(A)			1		17		1		17				17		0.05
		人件費	人件費 職員数 総額(B)		_	人 ·円	0.05			0.05			0.05 409		0.05 395		
		総		b(D) b(A+E		П	418		-		419	409		412			403
(9)	事業費と			- ⟨ · · · - · · · · · · · · · · · · · ·		0					0			0			
(9)	財源の内訳	<u>.</u>		玉				0	0			0		0			
		内		府				0			0		0		0		0
		)		その他				0			0		0		0		0
				担(D)				435	_		419		426		412		420
		<b>内</b>		地方債				0	_		0		0		0		0
		訳		その他 ・般財源				435	_		419		0 426		0 412		420
				(C+D)				435	_		419		426		412		
		☑直拍		( ,													
		. = .						1									
		□ 季	チマけ	一部委言	Ŧ.		委託先	2									
	実施方法		10/10	H135				3									
(10)						É	Eな委託内容		ı								
	(該当するもの は全部チェック)	_ + <del>+</del> -	4A ^	404			÷4.+	1									
		□補用	別金•賃	担金			交付先	2									
		□ そ0				内容	3	<u> </u>									

事業番号 00359

		/1日1示 マ	指標項目	■		項目			7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
			民謡教室実施回	数	目標値	(単	位:回)		3.00	3.00	3.00	
		指標 内容			実績値	(単	(単位:回)		3.00	3.00		
	1					達成度(%)			100.0	100.0		
<u> </u>		目標値	民謡教室年3回		単位当た	総事業費	(単位:千円)		139.67	142.00		
1 シ ・		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		139.67	142.00		
活動指			民謡教室参加者	数	目標値	(単	位:人)		60.00	60.00	60.00	
標		指標 内容		実績値	(単	位:人)		60.00	61.00			
	2					達成度(	%)		100.0	101.7		
		目標値の装質	民謡教室定員20	)人×3回	単位当た	総事業費	(単位:千円)		6.98	6.98		
	の積算 方法   方法				りコスト	一般財源	(単位:千円)		6.98	6.98		
					目標値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	<u>i</u> )	単位:)		0.00	0.00		
	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)					達成度(%)		0.0		0.0		
<u></u>		目標値 の積算			単位当た	総事業費	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00		
果指					目標値	₫)	単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	重)	単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(	%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00		
の3 が 困指	1	活動 内容						目標				
難な場合	2	成果 内容		て、機能訓練・日常生活 せ、生きがいを高めてし		建康の増進	と社会活動	達成状況		障がい者の健康が増進され、社会活動への も促進されており、生きがいを高めています		
			う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□ 縮小	\		廃止 □	終期の設定	
(4)総:	合評	価	評価の説明	軽度の障がい者を 参加者があり、教3 と考えます。	対象にコミュー室の定員も充	ニケーショ 足していま	ンと交流を <u>す</u> 。教養文·	重視した値 化活動等	中間づくり の機会を	と生きがいづくり 提供する事業と	の場として多くの して有効な手段だ	

 所属名
 総合福祉会館

 事務事業番号
 00359
 事業名
 民謡教室事業
 事業区分
 その他

	見点からの iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
1111		ит рази	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		<i>a</i> w
	ᅲᄱᄴ		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
(1)	妥当性 (20点)	14			
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
	。 有効性		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2)	(20点)	16			
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			・ ①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
\	効率性		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
(3)	(20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	10	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(E)	持続可	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 総合福祉会館	事務事業番号 00359			
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に応じて	(記載)		
3 事務事業の現状分析 (1)本事業の位置付け	主要な政策課題	□ 部。	として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能		妥当性 200 15 10 5 0 3 3 4 3 4 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4 4 4 4 4	
(3)現状分析	生きがいを高める障がい者に対す 加やニーズの多様化を踏まえ、どい い障がい者に、少しでも多くの機会	のように充実し	ていくのか検討が必要です	。今後も文化活動機会の少な┃
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項	)		

事業番号   00360
--------------

## 事務事業評価調書

事務事業名	七宝焼教室事業								
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守				

#### 1 事務事業の概要

	于初于未U/W	N <del>文</del>															
(1)	事業開始年度	昭和62年度			改正	陪宝	<b>害者自立支</b> 接	単注の終	温性是	<b>子紋</b> 「	フに伴う亜	領名称の亦	: 亩				
(2)	直近の改正	平成19年度	,		内容		34 H Y X 12	友/ム リル・	四阳	旦小ご 」	15件 7女	限石 你 07 发	.文				
(3)	根拠法令等	吹田市立総合	合福祉	会館福祉	止増進事	業等	等実施要領										
		☑ 全部	[	□ 一部	(上乗せ	□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
(4)	市単独事業区分		ックしオ	た場合は	はその説明												
(5)	総合計画の体系	章 0	03 俊	建康で安々	心して暮	事らせ	 せるまちづくり				節	03		細節		33	
		<u> </u>	<u> </u>		X	分	□ 内部管	部管理  □		建設	<del></del> 事業	☑ その他	<u>b</u>				
		対象 (誰を、何を)			範圍	囲等	在宅の身体障がい者及び知的障がい者。										
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	のか)	事業	美を通	 <u> </u> じて、障がし	い者の自	立とネ	土会参	参加を促進	し、生きがし	ハを高め	 ます。				
		<b>結果</b> (どのような効!	果が得ら	られるのか	がい者	い者の健康の増進と社会活動への参加の促進。											
(7)	サギ帆安 H28事業別	在宅障がいま 実施していま 会計		し、七宝焼		事業 <sup>:</sup> 	を行うことに 項	より、機f  01	能訓網	II.	常生活訓練	棟を図ります 大事業	<sup>-</sup> 。毎月第 	到•3金曜日 中事業	lの午後I 05	こ総合福祉会 小事業	会館で  01
(8)	予算コード	本司	UI	示人		JS	- 現				14	八爭未			00		
			項	目				平成2 (2015	7年度 年度)				平成2 (2016	8年度 年度)		平成29: (2017年	
						予算(千円)			<b>上算</b> (	千円)	予算(日	千円)	決算見込(千円)		予算(千円)		
		事業費(A)						201	1		198	201		199			201
		人件費 職員数 総額 (B)		職員数		人 <u> </u>		0.10			0.10		0.10	0.10	0.1		
				総額 (B)	千	円		836		804		817		790			
	NI I			費(A+B	)	1,0						+		989			
(9)	事業費と 財源の内訳		特定則	才源(C) 							0		0		0		0
		内		国  府				0			0				0		0
		訳		 その他				0			0		0		0		0
				担(D)				1,037			1,002		1,018		989		1,007
		~	<u>†</u>	 地方債				0			0		0		0		0
		内 訳	-	その他				0			0		0		0		0
		·		-般財源				1,037			1,002		1,018		989		1,007
		ļ	<b></b> 財源計	(C+D)				1,037			1,002		1,018		989		1,007
		☑ 直接	接実施														
								1									
		 □ 委託	E又は-	一部委託			委託先	2									
	 実施方法					<u> </u>		3									
(10)	(該当するもの					<u> </u>	とな委託内容										
	は全部チェック)			4 <del>1</del> 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1 4 1			ᅔᄮᄮ	1									
		□補助	<b>∄</b> □ □	担重			交付先	2									
								3									
		□ その	□ その他				内容										

事業番号 00360

2 評価の指標等

		指標等	指標項目			項目			27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			実施回数		目標値	(単	単位:回)		22.00	22.00	22.00
		指標 内容			実績値	(単	単位:回)		22.00	22.00	
	1					達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値	年間教室実施回 概ね月2回(第1・		単位当た	総事業費	(単位:千円)		45.55	46.18	
1   ``		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		45.55	46.18	
活動指標			延べ利用人数		目標値	(単	<b>单位:人</b> )		176.00	176.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	单位:人)		139.00	150.00	
	2					達成度	(%)		79.0	85.2	
		目標値 の積算	10人(1回あたり ×年間教室実施	の定員)×80%(出席率) 回数	単位当た	総事業費	(単位:千円)		7.21	6.77	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		7.21	6.77	
					目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00		
2 ) 成		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(.	単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(.	単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度%) 総事業費(単位:千円)			0.0	0.0		
		目標値 の積算					単位当た		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
の の 3 が 困指	1	活動 内容									
四難な場合 場合	2	成果 内容	七宝焼教室を開作参加を促進します	崔することにより、在宅障が <sup>-</sup> 。	い者の日常	常生活能力	達成 状況		室への参加で創造; こて社会参加も促進	カが高まり、互いの されています。	
		4	今後の方向性 (実施計画)	□拡充□	☑ <b>継続</b>	Ē	□ 縮小	•	J	<b>廃止</b> □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	在宅の障がい者を対象ます。参加人数についっがいづくり、身体機能の	ては、横に	ばいですか	ヾ、コミュニケー	ーションを	重視した		

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館				
事務事業番号	00360	事業名	七宝焼教室事業	事業区分	その他

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		$\overline{}$
пт іш	107]兀灬	二川川流	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		-
			し、同りには、から光で、同りは、一つの関手のありがは過じてすが。 		 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		<i>M</i>
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u>.</u>	<i>M</i>
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	   点
			a. 天心思報はする頃じている。(3点)   ④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	<u></u>	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			① / 1 到 1 1 1 1 元	<b></b>	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u>.</u>	
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	<u></u>
(2)	有効性 (20点)	16	B. 事業の目的と受益有は概ね一致している。(3点)   ③事業は目標どおりに進捗していますか。		点
	<b>\</b> = - <b>\\\\\\</b>				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	<b></b>	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		<u> </u>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)		②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		14	b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20無)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5 	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14.64		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		<u> </u>
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 総合福祉会館	事務事業番号 00360		
2 各視点からの評価の点数	では表れない事項(必要に応じて	(記載)	
の、東郊市業の頂供八代			
3 事務事業の現状分析 (1)本事業の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能	安当性 20 15 10 5 0 公平性 効率性	
(3)現状分析	生きがいを高める障がい者に対する やニーズの多様化を踏まえ、どのよ がい者に、少しでも多くの機会が提	る文化教室等の開催が少なく、当該事業も ように充実していくのか検討が必要です。今 と供できるような環境を整えておく必要があ	」含めて、高齢障がい者の増加 な後も文化活動機会の少ない障 ると考えます。
4 その他(国・府の動向など	, 当該事業に関係する特記事項)	)	
	,コ以予木にはボック行品学성		

事業番号   00361
--------------

# 事務事業評価調書

<b>市</b> 邓市₩ Д			ゲンベルフレーイ状ウ末光							
事務事業名	ダンベル・ストレッチ教室事業									
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守					

### 1 事務事業の概要

	1.121 1.514 0																
(1)	事業開始年度	昭和62年度			改正	7立 🖶		控けるの	∆ ነ⊔ ተ#	<b>空</b> 幼	フルツミ亜	·	<b>5</b> #5				
(2)	直近の改正	平成19年度			内容	早吉	百日业文	抜法の商	全迴拒	<b>直</b> 於	」に作つ安	領名称の変	芝史				
(3)	根拠法令等	吹田市立総合	合福祉会	会館福祉	业増進事	業等	等実施要領	İ									
		☑ 全部		一部	(上乗せ	·、横	出し等あり	)		なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施す	 る義務あ	<b>り</b> )	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 0	3 健	康で安	心して着	いらせ	とるまちづく	づくり 節				03	;	細節	33		
					区	分	□内部	 管理	□ 建設事業			☑ その <sup>4</sup>	也				
		対象 (誰を、何を)			範囲	囲等	在宅の身份	体障がい	 \者及	び知的	勺障がい者	<u>.</u>					
(6)	目 的	 目標 (どういう状態)	こしたいの	<b>のか</b> )	事業	きを通											
		結果 (どのような効!	果が得ら	れるのか	い 障か	い者	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
(7)	争未似女	在宅障がいる福祉会館で気				トレッ	チ教室事業	業を行う	ことに	より、	機能訓練・	日常生活記	∥練を図り	ます。毎月	第1・3金	曜日の午前	īに総合
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	. 0	3	項	01		目	14	大事業	02	中事業	06	小事業	01
		項目							27年  5年度					8年度 年度)		平成29 (2017 <sup>2</sup>	
					予算(	千円)		決算	(千円)	予算(	千円)	決算見込(千円)		予算(千円)			
		事業費(A)						19	2	0.10		0.10					192
		人件費		<b>員数</b>	+		0.10										0.10
				総額(B) 総事業費(A+B		·円								790			
	事業費と		事業質 特定財		)		1,028				996						
(9)	財源の内訳		1寸尺円				0				0				0		0
		内 訳		_ <del></del> 府			0				0		0		0		0
			そ	の他			0				0						
			市負担	∃(D)				1,02	8		996		1,009		981		998
		<u></u> 内		方債					0		0		0		0		0
		訳		の他					0		0		0		0		0
				般財源  C+D)				1,02			996 996		1,009		981 981		998 998
		☑ 直接		<u>C 1 D</u> )				1,02	<u> </u>		330		1,009		301		
	実施方法		E又は-	-部委訂	E		委託先	(1) (2) (3)	)								
(10)	(該当するもの					<u> </u>	Eな委託内!	答 ①	<u>, I</u>								
	は全部チェック)	□ 補助	⋔会∙臽╛	<b>扣金</b>			交付先	2									
		一 Lm A	, ar 54]	<u> </u>			<b>∼</b> 1176	3									
		□ その他					内容		<u> </u>								

事業番号 00361

2 評価の指標等

2 評1   	ш • •	/指標₹	指標項目	<b>1</b>		項目			27年度 5年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			実施回数		目標値	<u>i</u> )	単位:回)		22.00	22.00	22.00
		指標 内容			実績値	<u>( i</u>	単位:回)		22.00	22.00	
	1					達成度	(%)		100.0	100.0	
		目標値 の積算	年間教室実施回 概ね月2回(第1・		単位当た	総事業費	貴(単位:千円)		45.27	45.82	
       		方法			りコスト	ー般財源(単位:千円)		45.27		45.82	
活動指標			延べ利用人数		目標値	<u>i</u> )	単位:人)		176.00	176.00	0.00
標		指標 内容				<u>i</u> )	単位:人)		164.00	181.00	
	2					達成度	達成度(%)		93.2	102.8	
		目標値 の積算	10人(1回あたり ×年間教室実施	の定員)×80%(出席ጃ 回数	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		6.07	5.57	
		方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		6.07	5.57	
					目標値	(	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容					(単位:)		0.00 0.0		
	1				達成度	(%)		0.0	0.0		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
2		の積算 方法			りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0		0.0	
		目標値		単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00			
		の積算 方法			りコスト				0.00	0.00	
の の3 が 困指	1	活動 内容						目標			
難標な示合す	2	成果 内容	ダンベル・ストレッ を高め、社会参加	νチ教室を開催することに □を促進します。	こより、在宅障	がい者のI	日常生活能力	達成 状況	· ·	こいの交流を通じて	)参加で自立の促進 社会参加も促進され
			・ 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小	•	J	<b>秦止</b> □	終期の設定
(4)総1	(4)総合評価		評価の説明	身近な場所でのリー 業です。家族的な雰 場を提供する事業と	囲気の中で	、コミュニ	ケーションを重				も参加率も高い事 を流、仲間づくりの

## 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館				
事務事業番号	00361	事業名	ダンベル・ストレッチ教室事業	事業区分	その他

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

	<u>現点からの</u> fの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	
(1)					
	고 고 고 나 나		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	
	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	•••••	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	<b>3</b>	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		7110
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	<b>3</b>	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		7114
	- <del></del>		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	     点
(2)	有効性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	   点
			4市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		<i></i>
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	   点
			1単位当たりコストは適正ですか。		
		14	①早位当たりコストは適正ですが。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	
	効率性 (20点)				点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)			b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - は古っまたはなり、3×3×3×3×4×3×4×3×3×3×3×3×3×3×3×3×3×3×3×3		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
. • /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計	80	← ※自動計算します。 (中部等理事務は小売性の表現と終われた を を 2 担 との 4 元 1 × 1 05 ( 小米 と 以		
(100	点満点)		(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 総合福祉会館	事務事業番号 00361							
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応じて	記載)						
3 事務事業の現状分析								
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他					
(2)各視点からの評価結果	持続可能	安当性 10 10 有効性 公平性 効率性						
(3)現状分析	やニーズの多様化を踏まえ、どのよ	る文化教室等の開催が少なく、当該事業も うに充実していくのか検討が必要です。今 供できるような環境を整えておく必要がある	・後も文化活動機会の少ない障 🛚					
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)								

# 事務事業評価調書

事務事業名	包括的支援事業(介護保険特別会計)						
担当部名	福祉部	室課名	総合福祉会館	室課長名	寺本 守		

#### 1 事務事業の概要

	1.101 1.5/4															
(1)	事業開始年度				改正 医療と介護の連携、認知症施策の推進、生活支援と介護予防サービス					ービスの充	実、新しい	小介護予防と	:日常生			
(2)	直近の改正				_											
(3)	根拠法令等	介護保険法		•	•											
		□ 全部 □ 一部(上乗せ、横出し等あり) □ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり									り)					
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ニックしたナ	場合はる	その説明	∃										
(5)	総合計画の体系	章(	03 健身	らせるまちつ	るまちづくり 節 04						細節	12				
		<u> </u>			区分	☑ 内部管理			 建設	 と事業	☑ その付	也		<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範囲	等 概ね65	概ね65歳以上の高齢者とその家族、介護者等									
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	こしたいの	<b>か</b> )	高齢	 者が住み慣	打れた地垣	ぱでその	人らし	い生活が	続けられる。	ようにしま	す。			
		結果 (どのような効!	果が得られ	(るのか)	地域位	住民の保健	・医療の	向上及	び福祉	上の増進を	図ります。					
(7)	事業概要	地域包括ケア かしながらす のとおりです 1 総合相 を 2 権利 を 3 包括的継	総合相談支援業務 〇地域におけるネットワーク構築〇総合相談支援等 2 権利擁護業務 〇高齢者虐待への対応〇成年後見制度の活用等 3 包括的継続的ケアマネジメント業務 〇地域のケアマネジャーへの支援とネットワーク構築													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	12	款	05	項	02		目	01	大事業	02	中事業	01	小事業	01
		項目				平成27年度 (2015年度)					-	平成2 (2016	8年度 年度)		平成29 (2017年	
						予算	予算(千円)			(千円)	予算(-	千円)	決算見込	└(千円)	予算(千円)	
			事業費	(A)			1,0	032		115		1,026	6 66			4,448
		人件費 人件費	推員数 人 件費 ————————————————————————————————————			4.00		0 4.00			3.00		3.00		3.00	
		7117	総額	(B)	千円	9	36,0	012		33,804		26,505		25,020		24,906
		<b>9</b> /2	多事業費(				37,0			33,919		27,531		25,086		29,354
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源					320		27,305		22,163		19,905	<u> </u>	
		内		五			147	· ·			10,737	<u>'</u>			11,448 5,724	
		訳		府  の他			7,224 8,149			6,614 7,463		5,368 6,058		5,181 4,362	<u> </u>	
			ーーで 市負担				7,224			6,614		5,368		5,181		
				<u>・・・</u> 方債			7,2		0 0			0,000	<u> </u>		+	
		内		<u>リス</u> の他				0		6,614		5,368		5,181		5,724
		元日から					7,22			0		0		0		
		$\smile$	一版						+		27,531					
							37,0			33,919		27,531		25,086		29,354
		ļ								33,919		27,531				29,354
		ļ	財源計(C				37,0	044	療法人	33,919		27,531				29,354
		□直持	財源計(C 妾実施	;+D)		委託分	37,0	①44			I	27,531				29,354
	宝施方法	□直持	財源計(C	;+D)		委託分	37,0	①44		. 協和会	I	27,531				29,354
(10)	実施方法	□直持	財源計(C 妾実施	;+D)		委託を	37,0 た (内容	① 医療 ② 社会 ③ 影齢者や	会福祉	. 協和会 法人 寿第	I		务			29,354
(10)	(該当するもの	□ 直接 □ 重接 □ 季語	財源計(C 接実施 モ又は一部	3+D) 部委託		主な委託	37,0 先 (内容 高	① 医型 ② 社会 ③ 高齢者な	会福祉	. 協和会 法人 寿第	<b>幹福祉会</b>		务			29,354
(10)		□ 直接 □ 重接 □ 季語	財源計(C 妾実施	3+D) 部委託			37,0	1 医别 2 社会 3 高齢者な 1 2	会福祉	. 協和会 法人 寿第	<b>幹福祉会</b>		答			29,354
(10)	(該当するもの	□ 直接 □ 重接 □ 季語	財源計(C 接実施 モ又は一部	3+D) 部委託		主な委託	37,0	① 医型 ② 社会 ③ 高齢者な	会福祉	. 協和会 法人 寿第	<b>幹福祉会</b>		务			29,354

事業番号 00362

2 評価の指標等

2 評	Щ	1指標等	指標項目		項目			7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
			ケアマネジャー懇談会参加者数	目標値	<u>í</u> )	単位:人)		189.00	80.00	0.00
		指標 内容		実績値	<u>í</u> )	単位:人)		196.00	109.00	
	1	. , ,			達成度	(%)		103.7	136.3	
~		目標値	ケアマネジャー懇談会参加予定者数	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		173.06	243.77	
1 		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標				目標値	(	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容		実績値	(	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値の時質		単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法		りコスト	一般財源	原(単位:千円)		0.00	0.00	
			包括的支援事業相談件数(権利擁護・ケア  マネ支援・総合相談の相談件数)片山地域		1)	単位:件)		1,805.00	883.00	0.00
		指標 内容			績値 (単位:件)			1,538.00	1,100.00	
	1				達成度	(%)		85.2	124.6	
$\bigcap$		目標値 の積算	包括的支援事業相談件数前年度実績(権  擁護・ケアマネ支援・総合相談の相談件数	単位当た	総事業費	費(単位:千円)		22.05	24.16	
2 <sub>-</sub> 成		方法	片山地域	りコスト	一般財源	原(単位:千円)	0.00		0.00	
成果指標		指標 内容		目標値	(	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標				実績値	(	(単位:)		0.00	0.00	
	2				達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算		単位当た	総事業費	費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法		りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00		0.00	
の の が 困 形 指	1	活動 内容					目標			
難な場合	2	成果 内容					達成 状況			
		ي	今後の方向性 (実施計画) □ <b>拡充</b>	□ 継約	<del></del>	□縮小	<b>\</b>	<b>☑ ⅓</b>	<b>堯止</b> □	終期の設定
(4)総:	(4)総合評価		介護保険法に基づき員数が定められており必要です。							

### 事務事業分析シート

所属名	総合福祉会館				
事務事業番号	00362	事業名	包括的支援事業(介護保険特別会計)	事業区分	その他

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

	iの視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
(1)			b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	i	
	妥当性	10	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
1)	(20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	i	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	-	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	有効性	10	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	l	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	······································	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	•	
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	i	
	効率性 (20点)	4.0	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)		18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	i	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	i	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。	-	
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		10	②サービスの水準は適正ですか。	i	
	公平性		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
(4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	······································	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
_	持続可	10	b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	i	
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点

所属名	総合福祉会館	事務事業番号	00362	
2 各視点	。 なからの評価の点数では表れ	れない事項(必要に ない事項(必要に	応じて記載)	

#### 3 事務事業の現状分析

3 事份事業の現仏力例			
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題  □ としての取組	☑ 部として重点的な取組	□ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	安当性 20 有効性 公平性 効率性	
(3)現状分析	を相談窓口で配布しているほか、関係の総合相談窓口であることを周知して 託型千里山東・佐井寺地域包括支援	レットや高齢者虐待防止・成年後見制度 系機関の協力を得ながら地域包括支援セ てきたことで、相談・支援件数も増加してい <mark>をセンターを開設し、より身近に相談のでき</mark> 童委員会、地区福祉委員会、自治会、弁 でいます。	マンターが地域における高齢者います。平成28年4月には、委 きる体制が整備できました。吹

#### 4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成27年度介護保険法改正において、包括的支援事業に4事業が追加され、<mark>実施に当たり業務量がかなり増加しています。</mark>地域包括支援センターの機能強化として、業務量に応じた人員配置、センター間の役割分担、連携強化、事業の点検・評価の充実が求められています。片山地域包括支援センターについては、アウトソーシング推進計画に基づき、平成30年度より業務委託を行い、委託型地域包括支援センターへと置き換えます。